

## 拠点地区の課題

- ・英語に苦手意識を持つ児童生徒が多い。特に英作文等を「書くこと」に対して苦手意識がある。
- ・GTECでは「リスニング」「スピーキング」のスコアが低い傾向にあった。  
⇒ コミュニケーションのツールとして、英語を積極的に活用しようとする態度を育成していく必要がある。

## 小中連携を通じた具体的取組の内容

- ・小学校3年生から中学校3年生までのCAN-DOリストの作成
- ・市英語教育研修会での小中合同研修(小学校授業の指導案作り等)
- ・英語力試し問題(中2対象)の作成、実施
- ・GTEC、GTEC Juniorの実施
- ・児童生徒の目的意識の向上につなげる非常勤講師、ALTの活用
- ・明倫学園のスタートに向けた、小小連携、小中連携の推進

- ・小中の教員合同での指導案検討
- ・公開授業研究会の実施
- ・各学年段階における課題の共有
- ・目指す子どもの姿の共有

## 成果

- ・CAN-DOリストを作成したことで、各学年段階における学習到達目標を確認することができた。
- ・小中の教員が合同で指導案を検討したり、それぞれの授業を参観したりすることで、児童生徒が生き生きと活動できる授業の在り方やより良い学習課題の設定等について研究を深めた。  
→児童生徒の積極的な英語使用の態度を育む授業改善をすすめることができた。

## 成果

- ・非常勤講師の配置により、児童をより丁寧に見取ったり、児童からの質問に答えやすい環境をつくったりすることができた。  
→学習した表現を使い、自信をもって英語でコミュニケーションを図る児童が増えた。
- ・非常勤講師とALTの英会話を児童に見せることで、「自分も英語を話してみたい」という意欲の向上につながった。

## 今後の課題・方向性

- ・読む力、書く力の向上が課題である。特に「書くこと」について抵抗のある中学生が依然多いため、苦手意識を持たせないようにしつつ、書く力を定着させていくための小中連携の在り方について今後も考えていく必要がある。
- ・児童生徒自身が「表現したい」と思える場の設定を工夫し、自分のことを自分の言葉で表現できる力を育成する。
- ・明倫学区での実践を他校区にも周知することで、市全体の英語教育推進を図っていく。

# 第6学年 外国語学習指導案

指導者 HLT 栗田 由香  
ALT ティモシー・ブラティナ  
学習支援員 高橋 好夫

## 1 単元名 Here We Go! 6 Unit7 「My Best Memory」

### 2 目標

自分の考えや気持ちを知ってもらったり、相手の考えや気持ちを知ったりするために、思い出の学校行事や行った場所、したことなどについて具体的な情報を聞きとったり、伝え合ったりすることができる。また自分の事について、例文を参考にしながら、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

### 3 指導にあたって（研究テーマとの関連において）

#### (1) 単元について

本単元は、学習指導要領第6学年の以下の内容に重点を置いて指導する。

##### (1) 聞くこと

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

##### (3) 話すこと[やりとり]

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

##### (4) 話すこと[発表]

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

これらは次のように中学校外国語科につながっていく。

(1) 聞くことについては、イ「はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。」

(3) 話すこと[やりとり]については、イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」

(4) 話すこと[発表]については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句は文を用いて話すことができるようにする。」

小学校においては、イラストや写真などの視覚的な情報をもとにして聞いたり、簡単な語句や表現を用いて話したりするが、中学校では音声だけで聞いたり、話題を整理しながらまとまりのある内容を話したりすることになる。

本単元のねらいは、英語を使った言語活動を通して「自他の思い出を伝え合い、小学校生活への温かな気持ちを育む」ことである。本単元では、自分の思い出の学校行事について友達に発表したり、それを英語で書いて卒業アルバムに載せたりすることを活動のゴールとして設定する。そのために、毎時間自分の学校行事での思い出や出来事を友達と伝え合ったり、またその内容を書かせたりし、単元末の発表活動や書く活動に生かすようにしていく。

#### (2) 児童について（男子12名、女子10名）

外国語の学習を楽しみにしている児童が多く、熱心に学習している。歌やチャンツ、ゲームを通した言語活動に楽しく取り組む様子が見られ、反応のよい児童も多い。一方で、外国語が教科になり、簡単なドリルアップやワークテストが定期的にあったり、自分のことを伝える機会が多くなったりしたことで、緊張したり、英語で話すことに苦手意識を感じ始めた児童もいる。全国学調の質問紙においても、外国語の学習はあまり好きではないと答えた児童がおり、上手に言ったり読んだりすることよりも、学んだ語いや表現で友達と伝え合う楽しさを感じら

れるように留意してきた。

本単元では、卒業を間近にした6年生が学校行事の思い出を振り返る。学級でも卒業アルバム作りに向けての話合いが始まり、これまでの卒業アルバムを見ながら、自分たちはどんなアルバムを作りたいか考えを出し合っているところである。そこで、外国語の学習の足跡と学校の思い出をリンクさせ、英語で書かれた一人一人の思い出をアルバムに載せることを提案していく。自分の伝えたい思い出や出来事、感想を英文で書くという活動により、学校生活を温かな気持ちで振り返ったり、伝えたいことを吟味して英語で表そうとしたりする態度が育まれると考えられる。

(3) 研究主題とのかかわり

本単元では、「聞くこと」「話すこと」に重点を置く。授業においては、自分の思い出について伝えること、友達の思い出についての表現を理解することを繰り返し行う。形式的なやりとりでなく、各々がなぜその行事や出来事を選んだのかという相手意識や相手理解を大切にするこことで、コミュニケーションの素地を養うとともに、互いに尊重し高め合う学習態度を育てていきたい。

**視点1** 「児童の主体的な活動を支える課題づくり」

カリキュラム・マネジメントの観点から、総合的な学習での卒業アルバム作りと並行して学習を進める。卒業アルバムという、形としてのゴールが明確であること、自分たちの考えでアルバム作りをするということにより、必要感に迫られた意欲的な学習ができると考えられる。

**視点2** 「児童の対話的な活動を促す支援」

指導者のモデル演示、チャンツ、ゲームを通じた言語活動、形態を変えながらの反復練習といったインプット活動をたっぷり行い、音声に十分慣れ親しませる。何も見ないで簡単な基本表現がすらすら言える、という実感を大切にさせてから、自信を持ってコミュニケーション(アウトプット)できるようにしていきたい。

また、「思い出」という個人的なものを扱う学習内容であることから、相手理解と相手意識を常に大切にさせたい。具体的には、聞いている相手の様子を見ながら話すこと、相手が話してくれたらレスポンスすることを意識させていく。

**視点3** 「深い学びに対する評価」

自他の思い出を大切にすることをねらいとした指示や発問により、毎時間振り返りカードを書かせる。表現が「できた」「できない」という結果だけでなく、「こういうことを伝えられた」「相手はこういうことを考えていると思った」という伝え合いによって分かった内容についても着目させたい。本単元では、大まかに単元の前半をインプットの時間、後半をアウトプットの時間と捉え、指導者として記録に残す評価は主に後半で行っていく。

4 言語材料

○ 表現

- What's your best memory?                      • My best memory is ~.
- We went to ~.
- We saw ~.
- We ate ~.
- It was ~.
- We had ~.
- We enjoyed ~.
- We sang ~.

○ 語い

- 行事 entrance ceremony / music festival / volunteer day / swimming meet / school trip / field trip / sports day / drama festival / graduation day 等
- 感想 fun / exciting / delicious / interesting / hot / fantastic / cool 等
- レスポンス great / wonderful / nice / good / really / I see 等

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 学校行事を表す語いや、My best memory is～や We went to～などの表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 思い出の学校行事について、行事名やしたことなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>世界の国々への理解を深めるために各国の小学生の思い出について、どんな思い出があるかなどを聞き取り、理解している。</p> <p>友達の思い出を知るために、友達の発表からどんな思い出があるかなどを聞き取り、理解している。</p>	<p>世界の国々への理解を深めるために各国の小学生の思い出について、どんな思い出があるかなどを聞き取り、理解しようとしている。</p> <p>友達の思い出を知るために、友達の発表からどんな思い出があるかなどを聞き取り、理解しようとしている。</p>
話すこと「やり取り／発表」	<p>〈知識〉 聞くことの〈知識〉と共通。</p> <p>〈技能〉 思い出の学校行事について、My best memory is～や We went to～などの表現を用いて、行事やしたことを伝え合う（伝える）技能を身に付けている。</p>	<p>〈や〉自分の考えや気持ちを伝えるために、My best memory is～などの表現を用いて、思い出に残る行事を伝え合っている。</p> <p>〈発〉自分の考えや気持ちを伝えるために、思い出の学校行事について、簡単な語いや基本的な表現を用いて行事名やしたこと、感想を発表している。</p>	<p>〈や〉自分の考えや気持ちを伝えるために、My best memory is～などの表現を用いて、思い出に残る行事を伝え合おうとしている。</p> <p>〈発〉自分の考えや気持ちを伝えるために、思い出の学校行事について、簡単な語いや基本的な表現を用いて行事名やしたこと、感想を発表しようとしている。</p>
読むこと	<p>〈知識〉 聞くことの〈知識〉と共通。</p> <p>〈技能〉 音声で十分に慣れ親しんだ学校行事を表す語いや、My best memory is～や We went to～などの表現を読んで、意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>書き手の考えや気持ちを知らするために、学校行事でしたことや感想について、簡単な語いや基本的な表現で書かれた文を読んで意味が分かっている。</p>	<p>書き手の考えや気持ちを知らするために、学校行事でしたことや感想について、簡単な語いや基本的な表現で書かれた文を読んで意味を分かろうとしている。</p>
書くこと	<p>〈知識〉 聞くことの〈知識〉と共通。</p> <p>〈技能〉 思い出の学校行事について、My best memory is～や We went to～などの表現を用いて出来事や感想を書く技能を身に付けている。</p>	<p>自分の考えや気持ちを伝えるために、思い出の学校行事について、行事名やしたこと、感想を書いている。</p>	<p>自分の考えや気持ちを伝えるために、思い出の学校行事について、行事名やしたこと、感想を書こうとしている。</p>

6 指導計画（総時数 6 時間 本時 5 時間目）

次	○学習活動(●主な言語活動) ・主発問	評価			時数	
		知技	思判表	態度		◎評価規準(評価方法)
1	小学校生活いちばんの思い出を英語で表し、卒業アルバムに載せよう ○ 学校行事の言い方を知る。 ○ 小学校生活のいちばんの思い出を英語で表し、卒業アルバムに載せるといいう学習のゴールを確認する。 ● 自分たちの学校行事について振り返り、感想を伝え合う。 ・ どんな行事や、その時の出来事を紹介したいですか。				◎ 学習のゴールを知り、学校行事についての自分の思い出を振り返ろうとしている。 (行動観察・WS)	1
2	○ 思い出に残る行事をたずねたり答えたりする言い方を知る。 ● ピクチャーカードゲームを通して、My best memory is～の基本表現と学校行事を表す語いに慣れる。 ・ 自分の思い出の行事は何ですか。				◎ 学校行事を表す語いや My best memory is～の表現を理解している。(行動観察) ◎ 基本表現と行事を表す語いを用いて、自分の思い出の行事について話している。(会話)	2
	○ 思い出に残る行事を伝え合う。 ● いちばん思い出に残っている行事について、友達と1対1でやりとりをする。 ・ 自分のいちばんの思い出の行事が同じ友達はいましたか。				◎ 学校行事を表す語いや My best memory is～で表された内容を聞き取っている。(会話) ◎ 基本表現と行事を表す語いを用いて、自分の思い出の行事について友達と伝え合っている。(会話)	3
3	○ 行事で行った場所やしたことなどを伝える言い方を知る。 ● カードマッチングゲームを通して、We went to[ate/saw/enjoyed/ had/sang]～のようなしたことを伝える表現に慣れる。 ・ いちばんの思い出の行事で行った場所や、したことは何ですか。	話(や)	話(や)	話(や)	◎ 行った場所やしたことなどを表す語いや、We went to[ate/saw/enjoyed/ had/sang]～などの表現を理解している。(行動観察) ◎ 基本表現と行った場所やしたことなどを表す語いを用いて話している。／話そうとしている。(会話)	4
	○ 行事で行った場所やしたことなどを伝え合う。 ● いちばん思い出に残っている行事で行った場所や、したことについて、グループで発表する。 ・ 自分の思い出を友達に分かってもらうために、どんな言葉や表現を使えばいいでしょう。		話(発)	話(発)	◎ 行った場所やしたことなどを表す語いや、We went to [ate/saw/enjoyed/ had/sang]～を用いて、自分の思い出を発表している。(行動観察) ◎ 自分の思い出を相手に伝えるために、どんな表現や語いを用いればいいか考えながら発表しようとしている。(行動観察・WS)	5 (本時)
4	○ いろいろな人の思い出を聞き、世界各国の文化や、個々の個性・考え方についての理解を深める。 ● 小学校生活のいちばんの思い出を伝える発表シートを書き、グループで発表する。 ● 他グループの発表シートを読み合う。 ・ いろいろな人の思い出を聞き、どんなことに気付いたり、感想を持ったりしましたか。		書	書	◎ 自分の思い出を伝えるために、行事名やしたこと、感想を書いている。(行動観察) ◎ ユニットで学んだことや、いろいろな人の思い出についての感想を書こうとしている。(発表・振り返りシート)	6

7 本時の指導

(1) 目標

- ・行った場所やしたことなどを表す語いや表現を用いて、自分の思い出を発表することができる。【思判表：話(発)】
- ・自分の思い出を伝えるために、どんな語いや表現を用いようか考えながら発表しようとしている。【態度：話(発)】

(2) 指導過程

学習活動	教師の働きかけ ◎主な発問 指示 ○HLT/●ALT/★学習支援員	・留意点 ■支援 ●評価 (評価方法)
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>● 日にち、曜日、天気をたずねる。</p> <p>○ Let's review.</p> <p>● We went to Iwate. ( We had sports day at school.) We saw Chuson-ji(中尊寺). etc</p>	<p>・留意点 ■支援 ●評価 (評価方法)</p> <p>・前時までに学習した基本の文や単語を掲示する。</p> <p>・ALTの後について練習させる。</p>
<p><b>5</b> いちばんの思い出の行事で行った場所やしたことを、友達と伝え合おう。</p>		
<p>3 基本の文と語いの練習をする。</p> <p>(1) チャンツ</p> <p>(2) カードマッチングゲーム</p> <p>(3) 全体・個別で練習</p>	<p>○ Let's enjoy chanting.</p> <p>○ グループでゲームをしましょう。カードが合っていたら1ptです。</p> <p>○ 行った場所、したことの言い方を練習しましょう。</p> <p>★ What's your best memory? ● My best memory is our camping trip. We went to Mamurogawa. We ate pizza.</p>	<p>・歌えるところを一緒に歌わせる。</p> <p>・班ごと(6班)にカード1組を配る。</p> <p>■ 3人で分担し、つまづいている児童には初めの部分を教えて促し、できたら称賛する。</p> <p>■ 繰り返しモデルを示す。</p> <p>■ HLT、ALT、支援員が分かれて、1人ずつにたずねる。行事名・行った場所・したことを、黒板を参考にして答えさせる。</p>
<p>4 発表する。</p> <p>(1) モデル演示から活動を見通す。</p> <p>● What's your best memory? ★ My best memory is our camping trip. We went to Mamurogawa. We ate pizza. (It was delicious!) ● Good!</p> <p style="text-align: center;">(↔change)</p> <p>★ What's your best memory? ● My best memory is our sports day. We had sports day at school. We enjoyed playing "Tail Hunting". (It was exciting!) ★ Wow. that's nice.</p> <p>(2) シートにメモする。</p> <p>(3) グループで発表する。</p>	<p>○ やり通りの仕方を見ましょう。</p> <p>○ 場所としたことをワークシートにメモしましょう。</p> <p>◎ 自分の思い出を友達に分かってもらうために、どんな言葉や表現を使えばいいでしょう。</p>	<p>・モデルを示し、何を答えるか確かめる。(行事名/場所/したこと)</p> <p>・ここでの書く活動はメモにとどめ、次時に正しく書かせる。</p> <p>・辞書も自由に使えるようにしておく。</p> <p>・早い児童には感想も書かせる。</p> <p>・発表について質問したり、思い出を話し合ったりしてもよいことを告げる。</p> <p>■ 3人で分担し、つまづいている児童には初めの部分を教えて促し、できたら称賛する。</p> <p>■ レスponsやうなずきをしている児童やグループを取り上げ、よいコミュニケーションモデルを示す。</p> <p>● どんな語いや表現を用いようか考えながら発表しようとしているか。(態度：行動観察・WS)</p> <p>● 自分の思い出の行事について、行った場所やしたことを発表しているか。(思判表：行動観察)</p>
<p>5 振り返りを書く。</p>	<p>○ 今日の振り返りをしましょう。共通点のある友達は見つかりましたか。友達の発表を聞いてどう思いましたか。</p>	<p>・記述部分を何人かに発表させる。</p> <p>・共通の思い出がある喜びや楽しさを感じさせたい。</p>
<p><b>5</b> ・○○さんと同じ行事を選んでいたり、したことも一緒だった。 ・修学旅行にみんなで行ったことを思い出した。 ・行事が同じでも、行った場所やしたことが違う人もいた。 ・アルバムに載せるのが楽しみだ。</p>		

曜日 日付 天気

**いちばんの思い出の行事で行った場所や  
したことを、友達と伝え合おう。**

What's your best memory?

My best memory is our ~.

学校行事カード


場所

• We went to Iwate. • We had sports day at school.

したこと

• We saw Chuson—ji. • We had a relay race.  
• We ate Maesawa—gyu. • We sang a song.  
• We enjoyed seeing the view.

(感想)

• It was ~.

response

# CAN-DO リスト（明倫学園版）

表の略号：U=Unit DS=Daily Scene Pre=Presentation LA=Listening Activity LR=Let's Read Act=Activity (Unit)

	話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと	
3・4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通じて、友達や先生と関わることを楽しもうとしている。</li> <li>英語の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。</li> <li>自分自身の身近な事柄を表す英語に慣れ、進んで調べようとしている。</li> <li>買い物、道案内など日常的によく使われる表現を聞き取ったり言ってみたりしようとする。</li> <li>自他の言語や文化の違いに理解を深める。</li> <li>アルファベットの文字とその読み方に慣れる。</li> <li>ローマ字で自分の名前を書くことができる。</li> </ul>				
5年	発表	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの大文字と小文字を書くことができる。</li> <li>音声で慣れ親しんだ簡単な単語や語句を書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近で簡単な話題についての英語を聞いて、内容を理解することができる。</li> <li>身近で簡単な質問の意味を理解することができる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の名前や自分の名前を英語で言うことができる。</li> <li>好きな物や欲しい物などを含めて、簡単な自己紹介ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語であいさつを交わしたり、好きな物や欲しい物を聞いたり答えたりすることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの大文字と小文字を読むことができる。</li> <li>音声に慣れ親しんだ簡単な語句や、基本的な表現で書かれた文を読むことができる。</li> </ul>
6年	簡単な表現を使っての自己紹介や、身近な事柄を英語で言うことができる。	身近なことについて、相手に質問をしたり答えたり、やり取りをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声で慣れ親しんだ簡単な英文を書き写すことができる。</li> <li>簡単な語句や基本的な表現の例から適切なものを選んで書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な話題についての簡単な英語を聞いて、内容を理解することができる。</li> </ul>	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や、基本的な表現で書かれた文を読むことができる。
中1年	正しい語順で、自分自身のことや体験したことなどについて発表することができる。	身近なことに関する質問に適切に答えることができる。	自分自身のことや体験したことなどについて、英文のルールに従って3文以上で書くことができる。	身近な話題や自己紹介などを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 身近なことに関する質問の意味を理解することができる。	初歩的な語彙や表現で書かれた文章や物語を読み、その主な内容を読み取ることができる。
中2年	さまざまな話題について、情報や意見を正しく伝えることができる。	身近な話題について、問答をするなどして会話を続けることができる。	語と語や文と文のつながりなどに注意しながら、自分自身のことや身近な事柄、自分の考えや意見とその理由について4文以上で書くことができる。	身近な内容についての英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	簡単な英語で書かれたやや長い英文を読んで、その主な内容や書き手の意向を読み取ることができる。
中3年	自分の選んだテーマなどについて、まとまった内容でスピーチをすることができる。	聞いたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べ合ったり、問答をしたりすることができる。	身近な話題について、情報や自分の考えなどが読み手に正しく伝わるよう、文章の構成を意識して5文以上で書くことができる。	さまざまな場面で話されるまとまった英語を聞いて、話し手に聞き返したり、概要や要点を整理したりして、内容や話し手の考えや意向を正確に聞き取ることができる。	身近な内容について書かれたまとまった英文を読んで、自分の感想や意見を述べるができるように、その内容や大切な部分を整理しながら正確に読み取ることができる。